

令和6年10月1日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和6年7月～9月期実績、令和6年10月～12月期見通し)

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
135企業 (回答率90%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答									
製造業	27	2	2	3	3	10	8	9	8	4	3	24
建設業	26	2	1	3	2	13	12	5	5	3	3	23
小売業	33	9	9	2	2	11	10	7	7	2	2	30
飲食業	22	7	7	2	2	6	6	6	6	1	1	22
宿泊業	20	8	6	5	4	7	5	0	0	0	0	15
サービス業	22	2	1	2	2	12	12	4	4	3	2	21
合計	150	30	26	17	15	59	53	31	30	13	11	135

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

【令和6年7～9月期実績】

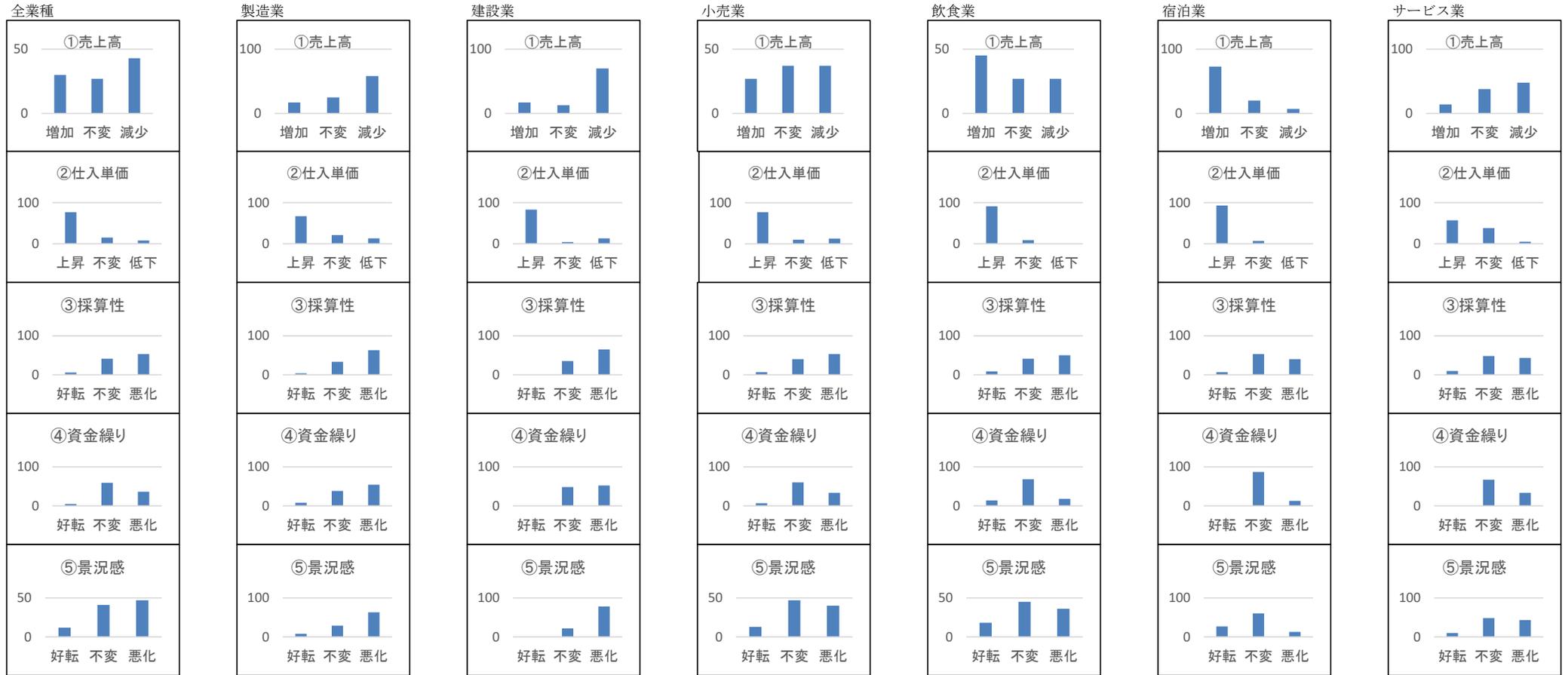
(1)	全業種の売上高DIは、▲8（前期比10ポイント増）となり、マイナス幅がやや減少した。
	業種別売上高DIは、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業で上昇、その他の業種では低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、61（前期66）とやや低下した。
	業種別仕入単価DIは、建設業、サービス業で上昇、その他の業種では低下。とくに小売業、飲食業は大幅に低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、▲42（前期▲40）となり、マイナス幅がやや減少した。
	業種別採算性DIは、製造業、小売業、宿泊業では上昇、その他の業種では低下。とくに建設業では大幅に低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲29（前期▲21）となりマイナス幅がやや拡大した。
	業種別資金繰りDIは、飲食業、宿泊業では上昇、その他の業種では低下。とくに建設業、サービス業では大幅に低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、▲33（前期▲38）となり、マイナス幅がやや減少した。
	業種別の景況感DIは、飲食業、宿泊業、サービス業では上昇、その他の業種では低下。とくに宿泊業では大幅に上昇した。

【令和6年10～12月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲16となり8ポイントマイナス幅が拡大する見通し。（悪化）
	業種別売上高DIは、製造業で上昇。その他の業種では低下。とくに宿泊業では大幅に低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、61となり、横ばいとなる見通し。（変化なし）
	業種別仕入単価DIは、建設業、サービス業で上昇、宿泊業では横ばい。その他の業種では低下する見通し。
(3)	全業種の採算単価DIは、▲40となり、ほぼ横ばいとなる見通し。（やや好転）
	業種別採算性DIは、宿泊業では低下、製造業、小売業、サービス業では横ばい。その他の業種では上昇する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲27となり2ポイントマイナス幅が減少する見通し。（やや好転）
	業種別の資金繰りDIは、飲食業、宿泊業で低下、小売業では横ばい。その他の業種では上昇する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲30となり3ポイントマイナス幅が減少する見通し。（やや好転）
	業種別の景況感DIは、製造業、建設業では上昇、宿泊業、サービス業では低下。小売業、飲食業は横ばいの見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和5年7月～9月）と比べた今期（令和6年7月～9月）の状況

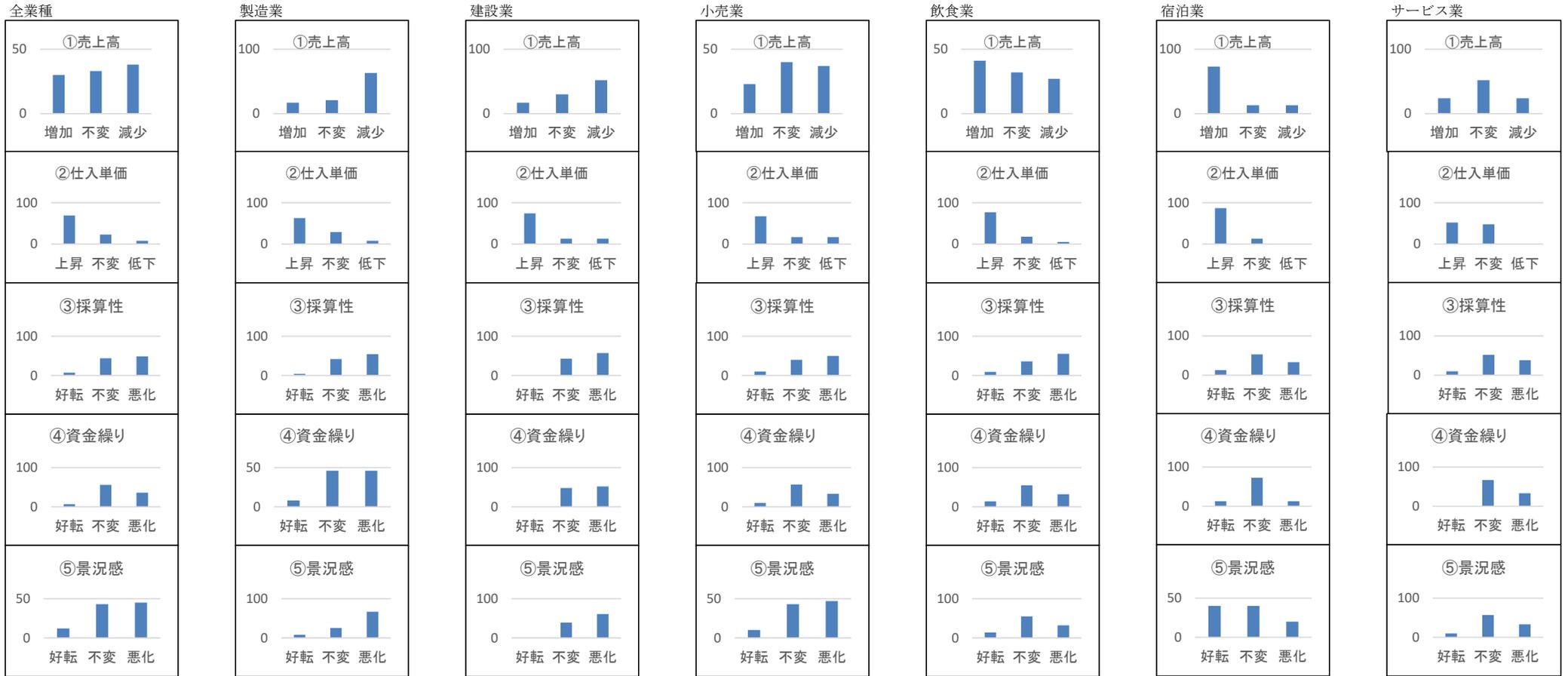


【企業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 13	▲ 41	▲ 53	▲ 10	18	66	▲ 34
仕入単価	69	54	70	64	91	93	52
採算性	▲ 47	▲ 59	▲ 65	▲ 46	▲ 41	▲ 33	▲ 33
資金繰り	▲ 31	▲ 46	▲ 52	▲ 26	▲ 4	▲ 13	▲ 33
景況感	▲ 35	▲ 55	▲ 78	▲ 27	▲ 18	14	▲ 33

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比
前期（令和6年4月～6月）と比べた今期（令和6年7月～9月）の状況



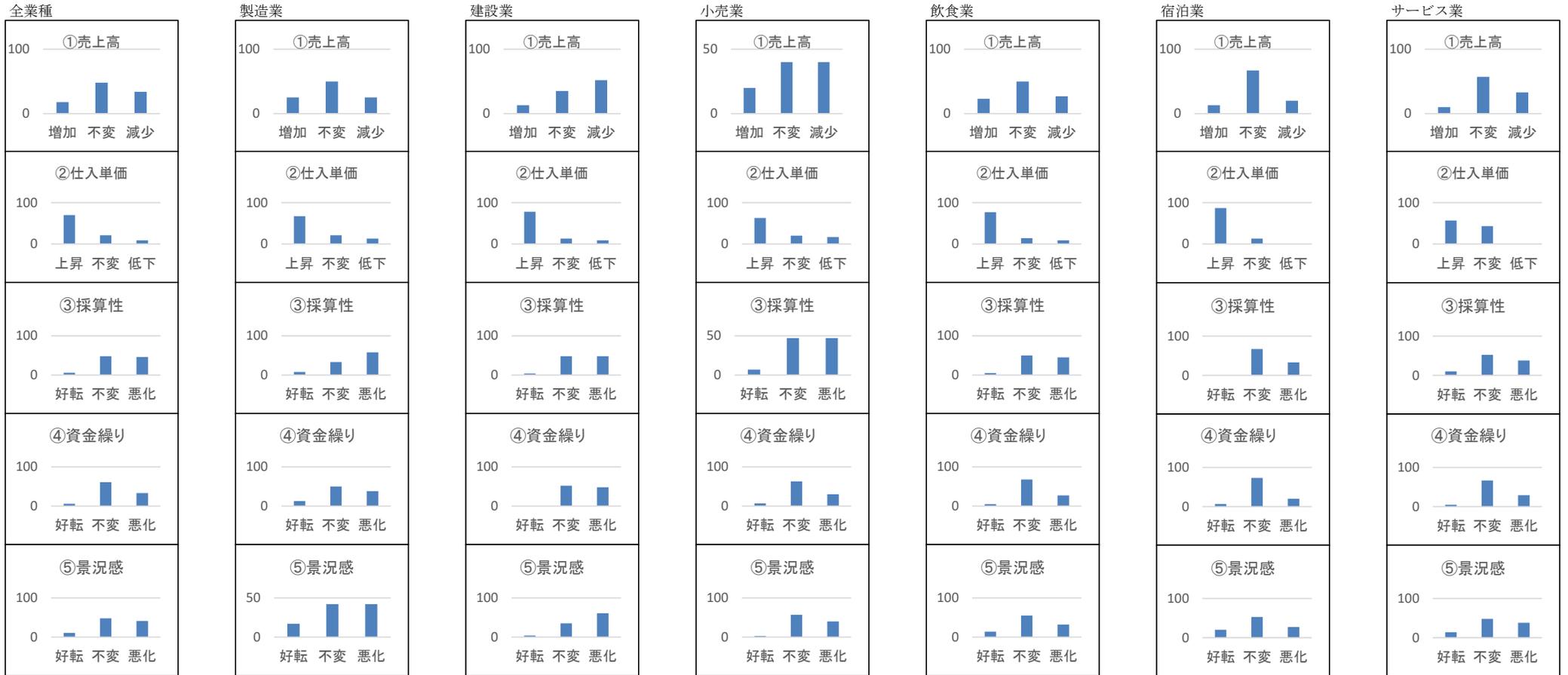
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 8	▲ 46	▲ 35	▲ 14	14	60	0
仕入単価	61	55	61	50	72	87	52
採算性	▲ 42	▲ 50	▲ 57	▲ 40	▲ 46	▲ 20	▲ 28
資金繰り	▲ 29	▲ 38	▲ 52	▲ 23	▲ 18	0	▲ 33
景況感	▲ 33	▲ 59	▲ 61	▲ 37	▲ 18	20	▲ 23

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和6年7月～9月）と比べた来期（令和6年10月～12月）の見通し

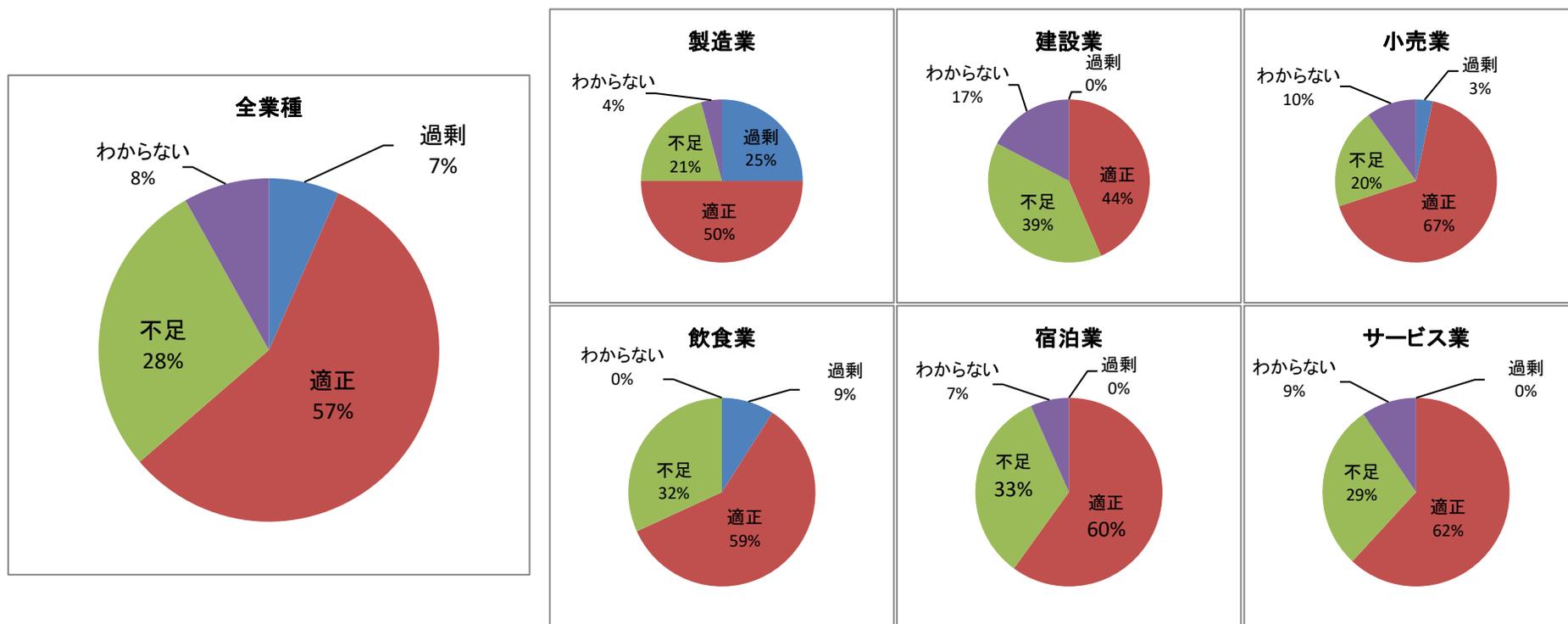


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 16	0	▲ 39	▲ 20	▲ 4	▲ 7	▲ 23
仕入単価	61	54	69	46	68	87	57
採算性	▲ 40	▲ 50	▲ 44	▲ 40	▲ 40	▲ 33	▲ 28
資金繰り	▲ 27	▲ 25	▲ 48	▲ 23	▲ 22	▲ 13	▲ 24
景況感	▲ 30	▲ 25	▲ 57	▲ 37	▲ 18	▲ 7	▲ 24

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R 6. 7～9月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
過剰	9	6.7%	6	25.0%	0	0.0%	1	3.3%	2	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
適正	77	57.0%	12	50.0%	10	43.5%	20	66.7%	13	59.1%	9	60.0%	13	61.9%
不足	38	28.1%	5	20.8%	9	39.1%	6	20.0%	7	31.8%	5	33.3%	6	28.6%
わからない	11	8.1%	1	4.2%	4	17.4%	3	10.0%	0	0.0%	1	6.7%	2	9.5%
合計	135		24		23		30		22		15		21	

対前期比（R 6. 4～6月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	2.8%	3.9	11.1%	13.9	0.0%	0.0	3.3%	0.0	0.0%	9.1	0.0%	0.0	0.0%	0.0
適正	59.2%	-2.2	66.7%	-16.7	40.0%	3.5	66.7%	0.0	71.4%	-12.3	44.4%	15.6	61.9%	0.0
不足	28.2%	-0.1	14.8%	6.0	40.0%	-0.9	23.3%	-3.3	28.6%	3.2	38.9%	-5.6	28.6%	0.0
わからない	9.9%	-1.8	7.4%	-3.2	20.0%	-2.6	6.7%	3.3	0.0%	0.0	16.7%	-10.0	9.5%	0.0

【実績】

全業種で見ると、従業員の数に「適正」と回答した経営者が最も多く全体の57.0%を占める。次いで「不足」と回答した経営者は、28.1%である。対前期比では、「適正」が2.2%減、「不足」は0.1%減、という結果となった。

（製造業）「適正」と回答した経営者が50.0%と対前期比16.7%減ではあるが前期に引き続き最も多く、「過剰」が対前期比13.9%増加した。

（建設業）「適正」と回答した経営者が43.5%、「不足」が39.1%となり全業種において最も高い割合で「不足」と回答された業種となった。

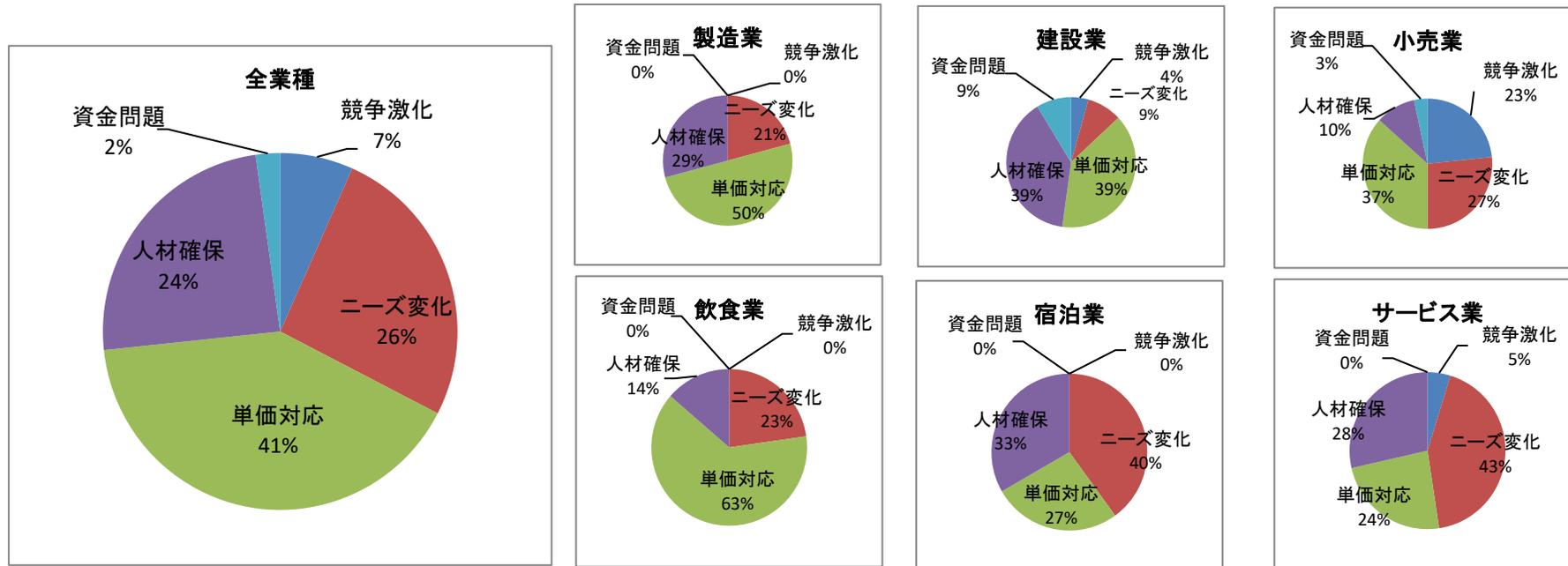
（小売業）「適正」と回答した経営者が前期と同じく66.7%と全業種においても最も多く、「不足」は対前期比3.3%減の20.0%となった。

（飲食業）「適正」と回答した経営者が59.1%、対前期比12.3%減少。「不足」が対前期比3.2%増の31.8%となった。

（宿泊業）「適正」と回答した経営者が60.0%（対前期比15.6%増）、二期連続大きく増加した。「不足」は対前期比5.6%減となったが、33.3%となった。

（サービス業）「適正」と回答した経営者が前期と同じく61.9%と最も多く、「不足」も全体の28.6%と同じく横ばいとなった。

【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R 6. 7～9)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
大手企業 (大型店) 進出、インターネット普及による販売競争の激化	9	6.7%	0	0.0%	1	4.3%	7	23.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	競争激化
消費者 (製品) ニーズ変化への対応	35	25.9%	5	20.8%	2	8.7%	8	26.7%	5	22.7%	6	40.0%	9	42.9%	ニーズ変化
仕入単価 (原材料) の上昇、販売受注単価の低下	55	40.7%	12	50.0%	9	39.1%	11	36.7%	14	63.6%	4	26.7%	5	23.8%	単価対応
必要な人材の雇用確保	33	24.4%	7	29.2%	9	39.1%	3	10.0%	3	13.6%	5	33.3%	6	28.6%	人材確保
事業資金の借入難	3	2.2%	0	0.0%	2	8.7%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	資金問題
合計	135		24		23		30		22		15		21		

対前期比（R 6. 4～6）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	7.0%	-0.3	0.0%	0.0	4.0%	0.3	23.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	9.5%	-4.7	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	26.8%	-0.9	33.3%	-12.5	16.0%	-7.3	30.0%	-3.3	14.3%	8.4	22.2%	17.8	42.9%	0.0	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	37.3%	3.4	48.1%	1.9	32.0%	7.1	33.3%	3.4	61.9%	1.7	33.3%	-6.6	14.3%	9.5	単価対応
必要な人材の雇用確保	26.8%	-2.4	14.8%	14.4	44.0%	-4.9	13.3%	-3.3	19.0%	-5.4	44.4%	-11.1	33.3%	-4.7	人材確保
事業資金の借入難	2.1%	0.1	3.7%	-3.7	4.0%	4.7	0.0%	3.3	4.8%	-4.8	0.0%	0.0	0.0%	0.0	資金問題

【実績】

全業種でみると「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」を認識する経営者が引き続き最も多く40.7%の割合となった。次いで、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」、「必要な人材の雇用確保」となった。

（製造業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が50.0%となり、12期連続で最も多く、対前期比では1.9%増。
次いで「必要な人材の雇用確保」が14.4%増の29.2%であった。

（建設業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」「必要な人材の雇用確保」がどちらも39.1%と最も多い。

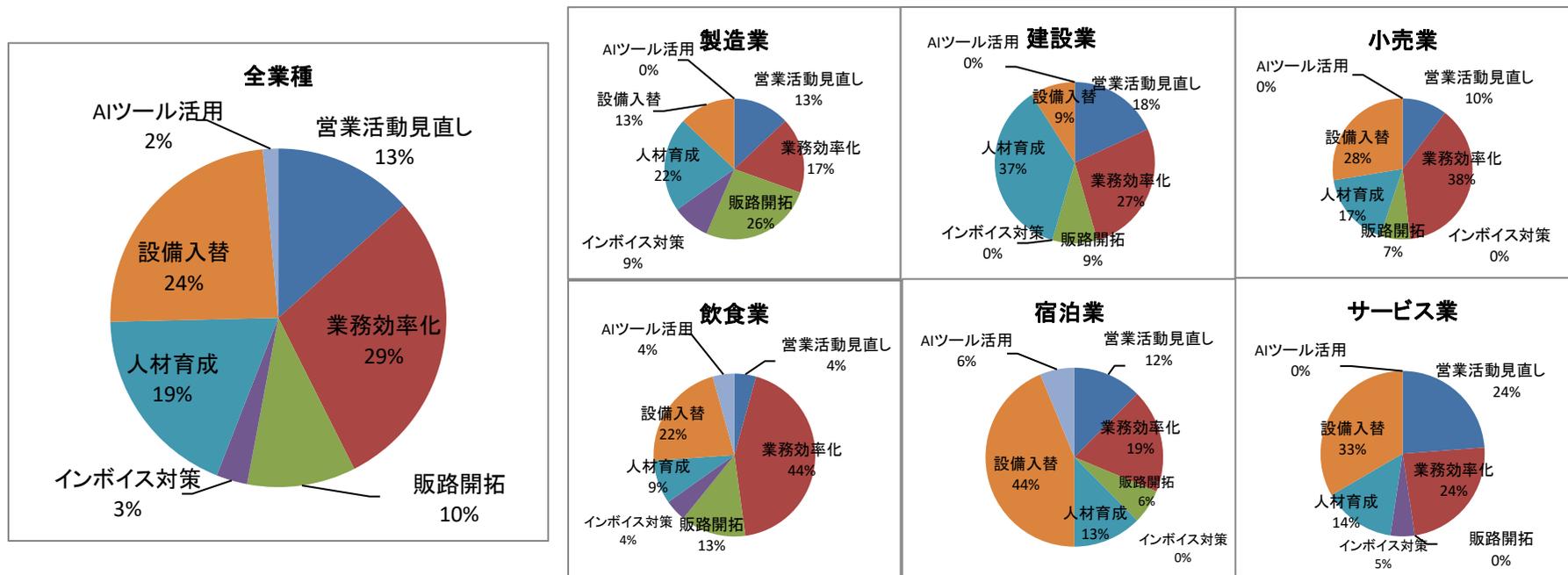
（小売業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が36.7%と、10期連続で最も多い。
次いで「消費者（製品）ニーズの変化への対応」が26.7%（対前期比3.3%減）となった。

（飲食業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が63.6%となり、12期連続で最も多く、
今回も全業種においても最も高い割合となった（対前期比では1.7%増）

（宿泊業）「消費者（製品）ニーズ変化への対応」が40.0%と最も多い。（対前期比17.8%増）

（サービス業）「消費者ニーズ変化への対応」が前期に引き続き42.9%と最も多い割合となった。（対前期比横ばい）

【6】 今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R 6. 7 ~ 9)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	18	13.4%	3	13.0%	4	18.2%	3	10.3%	1	4.5%	2	13.3%	5	23.8%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	39	29.1%	4	17.4%	6	27.3%	11	37.9%	10	45.5%	3	20.0%	5	23.8%	業務効率化
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	14	10.4%	6	26.1%	2	9.1%	2	6.9%	3	13.6%	1	6.7%	0	0.0%	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	4	3.0%	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	1	4.8%	インボイス対策
人材育成、社員教育	25	18.7%	5	21.7%	8	36.4%	5	17.2%	2	9.1%	2	13.3%	3	14.3%	人材育成
設備の入替・更新	32	23.9%	3	13.0%	2	9.1%	8	27.6%	5	22.7%	7	46.7%	7	33.3%	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	1	6.7%	0	0.0%	AIツール活用
合計	134		23		22		29		22		15		21		

対前期比（R6.4～6）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	10.6%	2.8	3.7%	9.3	16.7%	1.5	16.7%	-6.4	0.0%	4.5	5.6%	7.7	19.0%	4.8	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	35.2%	-6.1	29.6%	-12.2	29.2%	-1.9	36.7%	1.2	45.0%	0.5	38.9%	-18.9	38.1%	-14.3	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	13.4%	-3.0	33.3%	-7.2	8.3%	0.8	10.0%	-3.1	10.0%	3.6	11.1%	-4.4	4.8%	-4.8	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	4.2%	-1.2	11.1%	-2.4	0.0%	0.0	3.3%	-3.3	5.0%	-0.5	0.0%	0.0	4.8%	0.0	インボイス対策
人材育成、社員教育	19.0%	-0.3	14.8%	6.9	33.3%	3.1	16.7%	0.5	20.0%	-10.9	5.6%	7.7	23.8%	-9.5	人材育成
設備の入替・更新	16.2%	7.7	7.4%	5.6	12.5%	-3.4	16.7%	10.9	20.0%	2.7	38.9%	7.8	9.5%	23.8	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用	1.4%	0.1	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	5.0%	-0.5	5.6%	1.1	0.0%	0.0	AIツール活用

【実績】

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「業務の効率化、仕事の見える化」が29.1%（対前期比6.1%減）で最も多い割合となった。次いで「設備の入替・更新」が23.9%（対前期比7.7%増）となった。

（製造業）「販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）」が26.1%と最も多い割合となった。（対前期比7.2%減）
次いで「人材育成、社員教育」が21.7%（対前期比6.9%増）となった。

（建設業）「人材育成、社員教育」が36.4%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比3.1%増）
次いで「業務の効率化、見える化」は27.3%となった。（対前期比1.9%減）

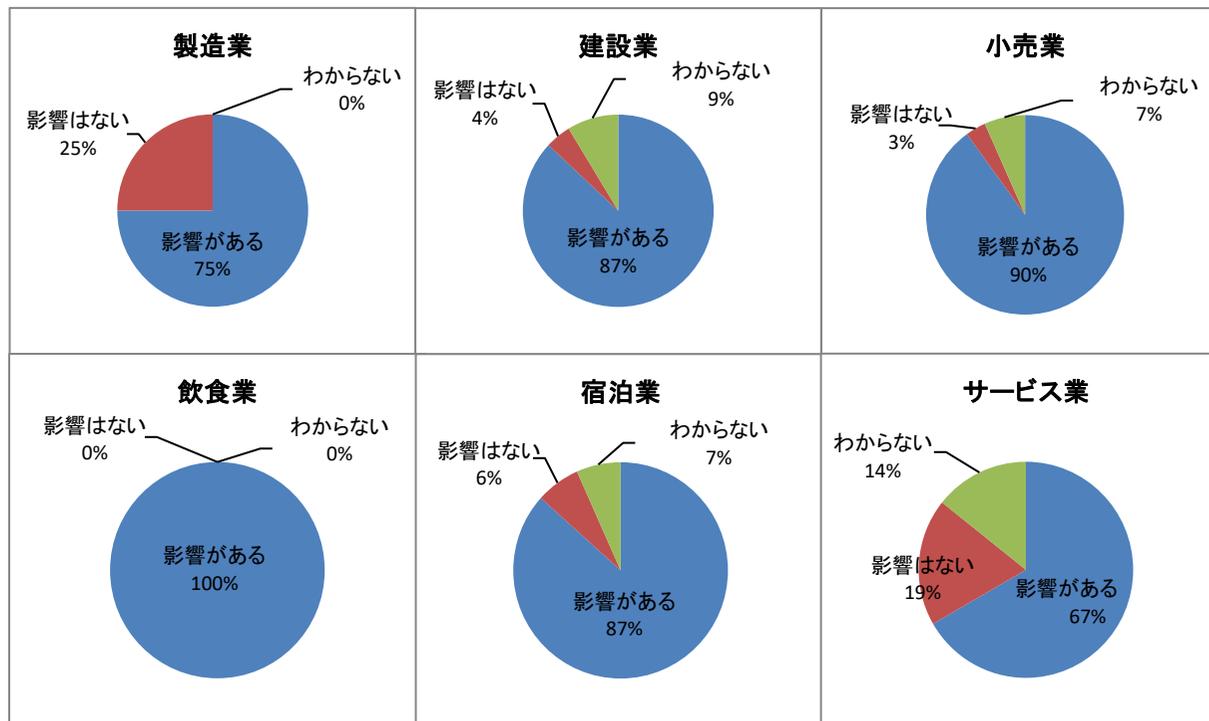
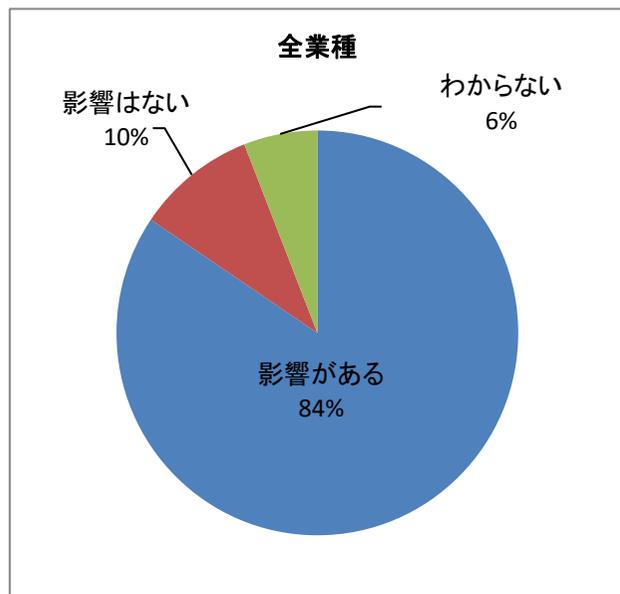
（小売業）「業務の効率化、仕事の見える化」が37.9%と最も多い割合になった。（対前期比1.2%増）
次いで「設備の入替・更新」が27.6%となった。（対前期比10.9%増）

（飲食業）「業務の効率化、仕事の見える化」が45.5%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比は0.5%増）
次いで「設備の入替・更新」が22.7%となった。（対前期比2.7%増）

（宿泊業）「設備の入替・更新」が46.7%と最も多い割合となった。（対前期比7.8%増）
次いで「業務の効率化、仕事の見える化」が20.0%となった（対前期比18.9%減）

（サービス業）「設備の入替・更新」が33.3%と最も多い割合となった。（対前期比23.8%増）
次いで、「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」「業務の効率化、仕事の見える化」が共に23.8%の割合となった。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期 (R 6. 7 ~ 9)

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率									
影響がある	114	84.4%	18	75.0%	20	87.0%	27	90.0%	22	100.0%	13	86.7%	14	66.7%	影響がある
影響はない	13	9.6%	6	25.0%	1	4.3%	1	3.3%	0	0.0%	1	6.7%	4	19.0%	影響はない
わからない	8	5.9%	0	0.0%	2	8.7%	2	6.7%	0	0.0%	1	6.7%	3	14.3%	わからない
合計	135		24		23		30		22		15		21		

対前期比（R 6. 4～6）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
影響がある	84.5%	-0.1	85.2%	-10.2	76.0%	11.0	86.7%	3.3	100.0%	0.0	100.0%	-13.3	61.9%	4.8
影響はない	9.2%	0.4	14.8%	10.2	8.0%	-3.7	3.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	6.7	28.6%	-9.6
わからない	6.3%	-0.4	0.0%	0.0	16.0%	-7.3	10.0%	-3.3	0.0%	0.0	0.0%	6.7	9.5%	4.8

【実績】

「影響がある」と回答した経営者の割合は、全業種で84.4%と大半を占めており、「飲食業」においては100%の割合で影響があると回答した。（対前期比0.1%減）

（製造業）「影響がある」と回答した経営者は、75.0%であった。（対前期比10.2%減）

（建設業）「影響がある」と回答した経営者は、87.0%であった。（対前期比11.0%増）

（小売業）「影響がある」と回答した経営者は、90.0%であった。（対前期比3.3%増）

（飲食業）「影響がある」と回答した経営者は、2期連続100.0%であった。

（宿泊業）「影響がある」と回答した経営者は、86.7%であった。（対前期比13.3%減）

（サービス業）「影響がある」と回答した経営者は、66.7%であった。（対前期比4.8%増）

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について、影響の有無に関わらず、前回調査時と比較したときの状況の変化
 (参考：ポストコロナ、原油価格・物価高騰、円安、ゼロゼロ融資の状況、インボイスの状況等)

1	原材料が高騰しても、商品の値上げは顧客離れに繋がることを懸念してできない。(飲食業・城崎)
2	天候不順による不作。気候(高気温)によるのか、野菜・卵などの仕入れ価格の高騰。(飲食業・城崎) (小売業・出石)
3	まだまだ今後材料、電気、ガス、水道などの値上がりがある中で売値に転嫁できず利益が上がらない(飲食業・城崎)
4	毎月の何かの仕入れ値が上がる状況。自然災害による各地の被害や、物価高により日本人の消費が落ちている。(小売業・城崎)
5	物価高騰。仕入、販売価格ともに上昇しすぎており商品が売れなくなっている。(小売業・城崎)
6	物価の高騰が止まらず、利益の確保が難しい状況。小売業では価格転嫁にも限界がある。(小売業・城崎)
7	光熱費、材料仕入れ、値上げにより利益幅が狭くなっていく。コロナ借入の返済によりキャッシュがまわらなくなることを心配している。 (宿泊業・城崎)
8	セメント、鋼材等の素材価格の上昇や2024問題により資材価格や人件費等の上昇により現在を含め今後はさらに採算性等が厳しくなると見込まれる。(建設業・竹野)
9	仕入れ価格の上昇、運賃上昇による配送拒否。(小売業・竹野)
10	仕入価格の高騰。仕入先業者にも頑張ってもらっているので何とか運営出来ている。今期から事業内容の見直し(一部事業の取りやめ)や値上げをした影響も売上減少に繋がっていると思う。(製造業・日高)
11	2024年11月から、企業が発行する約束手形の決済期間を60日以内とする新指導基準が発表され資金繰りが厳しくなる。(建設業・日高)
12	ウクライナ、ロシアの戦争の影響でヨーロッパ系の資材費が高騰と納品時間がかかる。(建設業・日高)
13	軽減税率・インボイス事務処理に時間がかかる。(飲食業・日高)
14	売上向上が見込めなく思うような利益が得られない。参考に掲げている全てが影響しているように見え、今後も向上する事が予測できない。(小売業・日高)

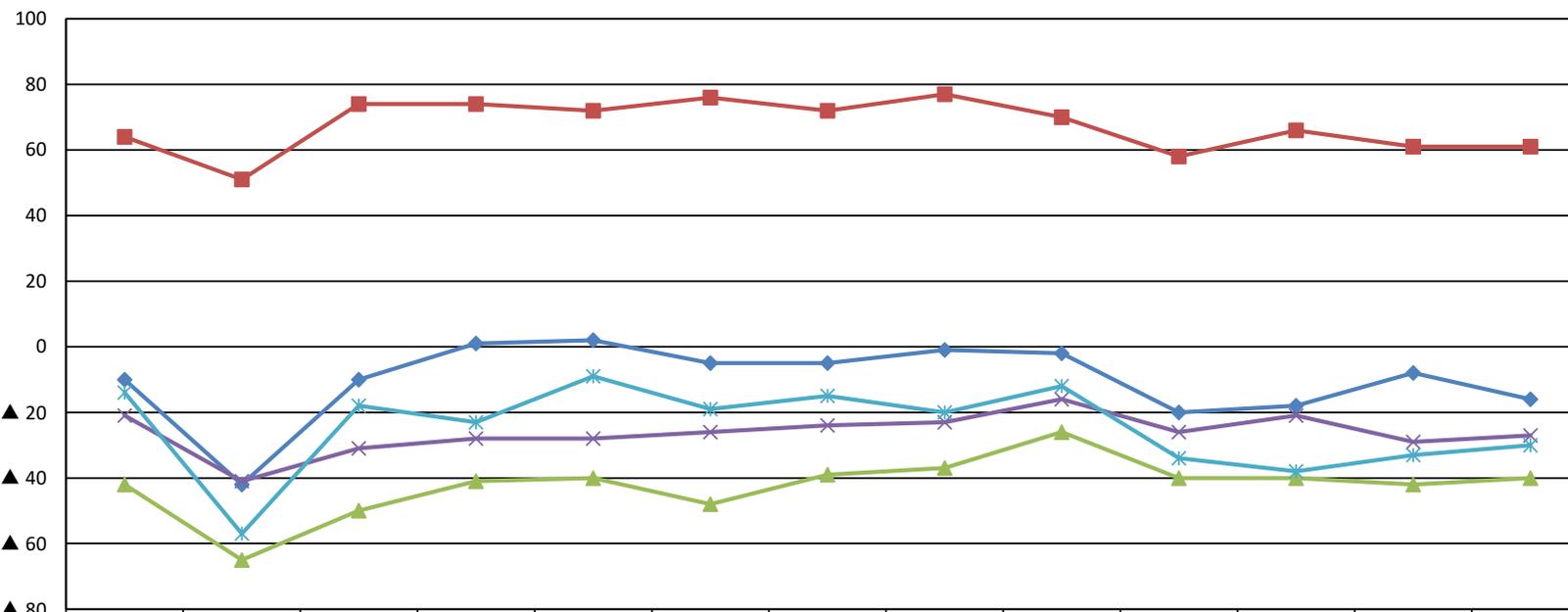
15	原油高の高止まりでそこまで影響がないように感じるが、実は上がったままの状況。なので原価（原材料含めて）が上がったままという状況下、価格転嫁にも限度がある。一般小売、物販には厳しい状況に変わらない。（小売業・日高）
16	全体的に物価上昇しているので、経費が増えた。（宿泊業・日高）
17	原材料は徐々に上がるが、販売価格に転嫁し難い。（宿泊業・日高）
18	公共事業の圧倒的な低下。（サービス業・日高）
19	設備の経年劣化の為、営業設備の故障等で営業の縮小・利用客数の減少が8月に起きた。台風10号の接近による休業が長期に延長となった。（サービス業・日高）
20	原料の値上げにより価格改定を実施したが、売上が減少してしまった。コロナ以降の停滞感もありなかなか売上を確保することが難しい。（製造業・出石）
21	物価は高騰しているが、その分値上げしているのでさほど影響はない。（飲食業・出石）
22	原材料の高騰で利益率が減っている。コスト削減を心がけている。（サービス業・出石）
23	原材料の仕入において値上げが止まらない。また、夏の気温上昇による玉子価格の上昇、光熱費の上昇等経費負担が重くのしかかる。一度値上がりした価格（相場もの等の野菜、山芋等）の価格が下がらない。（飲食業・出石）
24	原材料・及び人件費の高騰により建設見積工事金額が高くなり、工事をされるお客様が減少したように思う。（建設業・但東）
25	物価高騰によって消費者は、手軽に買える近所のお店より、遠くてもより安く買える所を探している。年金生活者など収入が増えない方々にとっては、仕方がない。過去3回実施しているデジタルプレミアム商品券を販売されるが、高齢者はほとんど利用していない。（小売業・但東）
26	物価高騰による光熱費、原油、仕入価格などの高騰。（サービス業・出石）（サービス業・但東）

【9】自由コメント

1	都道府県単位の最低賃金制度の見直しといわゆる年収の壁の見直しを商工会から提言頂きたい。（飲食業・城崎）
2	公共工事（土木）の発注件数が昨年度からこれまでより少なくなっており地域の建設業は全体的に厳しい。また、建築は民間等も景気の影響か発注がかなり低調。これまで同様に若年層の新規採用等が大変厳しい。（建設業・竹野）
3	大企業ばかりが優遇される政策では中小、下請けは辞めざるをえない。政府は成長産業へ人、物、金、全てを回そうとしているが、それでは絶対に「必要なもの」が手に入りづらくなるのは必然です。政治家はキックバックで自分の懐温める事に一生懸命ですが国民を温める事を忘れてないですか？（製造業・日高）
4	急速な少子高齢化が経済の発展の障害になっていることを気づいていない経営者や国民が多すぎ。端的に言えばGDPは国力。その国力は人口増または一人当たりの売り上げや給与を増やさなくてはそれは増大しない。社会保障費の急激な増大に耐えきれないだけの、この国の稼げる余裕はもう無い。従ってただいま日本沈没中…としか思えない。（製造業・日高）
5	9月はまだ見込みは分かりませんが前年よりは売上は落ちてはくるのかと思います。（製造業・日高）
6	軽減税率・インボイス・定額減税など事務処理に負担がかかる。特に軽減税率は店内飲食10%、持帰り8%で同じ商品でも税込金額が違う。税込金額が覚えられないので、口頭では税別金額でお客様に伝えている。（飲食業・日高）
7	急速な人口減・金利上昇に伴う利息支払い上昇・2年後から返済が始まるコロナ融資・ネット購入浸透などで物販小売業を取り巻く環境変化に希望ある将来像が描けない。社会構造の大きな変貌期に差し掛かっているような感じがする。過去に投資した借入金の返済予定が組めない。（小売業・日高）
8	この景況感には、ポストコロナ、原油高などいろいろ言われているが、人口減がいちばん大きな要因かと思います。金利引き上げ（預・貸金）賃金引上げなど、目につきますが、人口問題についての解決策、具体案があまり目につかないのも気になる。（小売業・日高）
9	利益も出ない状況で、税金はしっかり徴収する事自体が間違っている。税金の減少を推奨します。人口減少に伴い社会保険料の増額等、行政の考えが全く理解出来ない。全てが逆の発想。人口増が不可能なら、大手企業の誘致等、人を集める施策を考えるべき。（サービス業・日高）
10	夏休み前は売上は減少していたが、夏休み以降、海の日を挟んだお盆休み等で連休並みの売上がキープできた。（飲食業・出石）

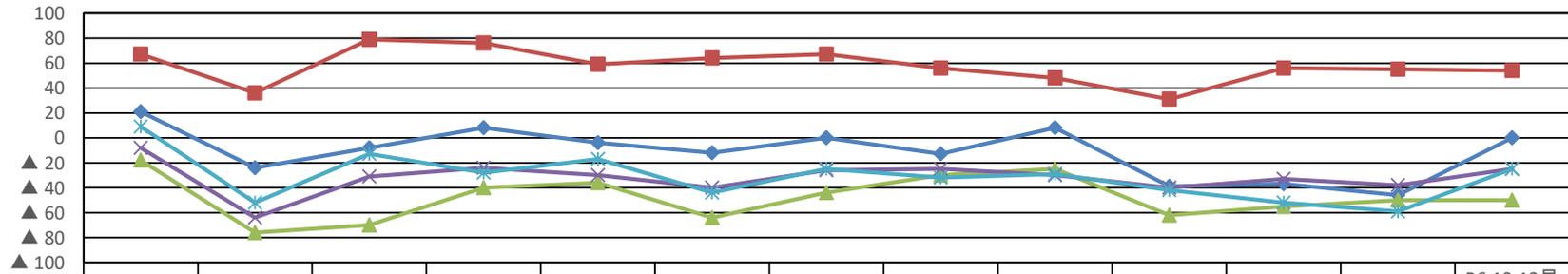
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



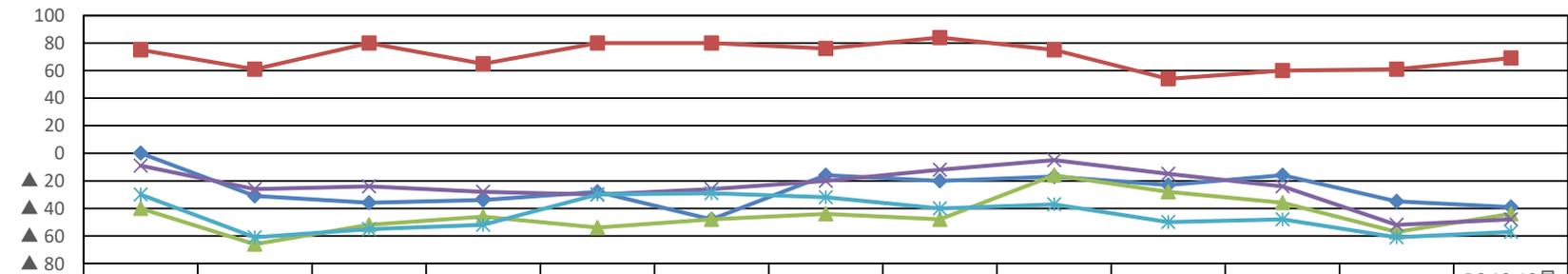
	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見込み
売上高	▲ 10	▲ 42	▲ 10	1	2	▲ 5	▲ 5	▲ 1	▲ 2	▲ 20	▲ 18	▲ 8	▲ 16
仕入単価	64	51	74	74	72	76	72	77	70	58	66	61	61
採算性	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 41	▲ 40	▲ 48	▲ 39	▲ 37	▲ 26	▲ 40	▲ 40	▲ 42	▲ 40
資金繰り	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 26	▲ 24	▲ 23	▲ 16	▲ 26	▲ 21	▲ 29	▲ 27
景況感	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 23	▲ 9	▲ 19	▲ 15	▲ 20	▲ 12	▲ 34	▲ 38	▲ 33	▲ 30

製造業DI推移



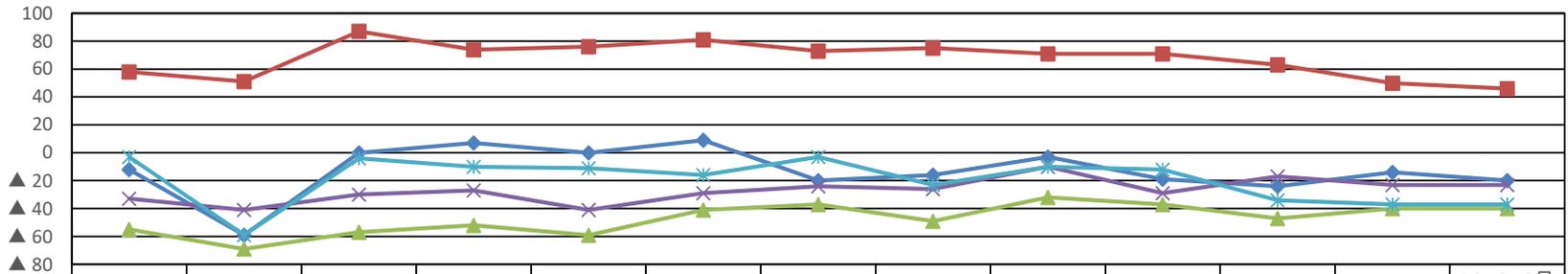
	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12見込み
● 売上高	21	▲ 24	▲ 8	8	▲ 4	-12	0	▲ 13	8	▲ 39	▲ 37	▲ 46	0
■ 仕入単価	67	36	79	76	59	64	67	56	48	31	56	55	54
▲ 採算性	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 40	▲ 36	▲ 64	▲ 44	▲ 30	▲ 25	▲ 62	▲ 55	▲ 50	▲ 50
× 資金繰り	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 40	▲ 26	▲ 25	▲ 30	▲ 40	▲ 33	▲ 38	▲ 25
* 景況感	9	▲ 52	▲ 13	▲ 28	▲ 17	▲ 44	▲ 25	▲ 32	▲ 29	▲ 42	▲ 52	▲ 59	▲ 25

建設業DI推移



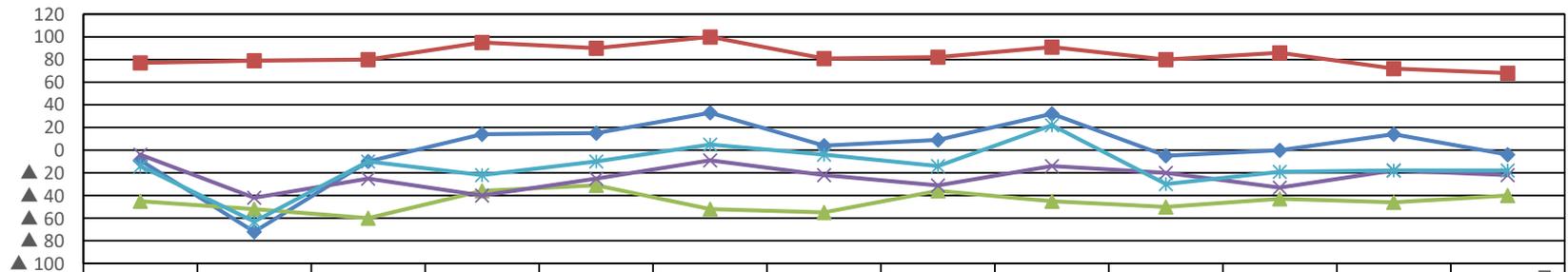
	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12見込み
● 売上高	0	▲ 31	▲ 36	▲ 34	▲ 28	▲ 48	▲ 16	▲ 20	▲ 17	▲ 23	▲ 16	▲ 35	▲ 39
■ 仕入単価	75	61	80	65	80	80	76	84	75	54	60	61	69
▲ 採算性	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 46	▲ 54	▲ 48	▲ 44	▲ 48	▲ 16	▲ 28	▲ 36	▲ 57	▲ 44
× 資金繰り	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 26	▲ 20	▲ 12	▲ 5	▲ 15	▲ 24	▲ 52	▲ 48
* 景況感	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 52	▲ 30	▲ 29	▲ 32	▲ 40	▲ 37	▲ 50	▲ 48	▲ 61	▲ 57

小売業DI推移



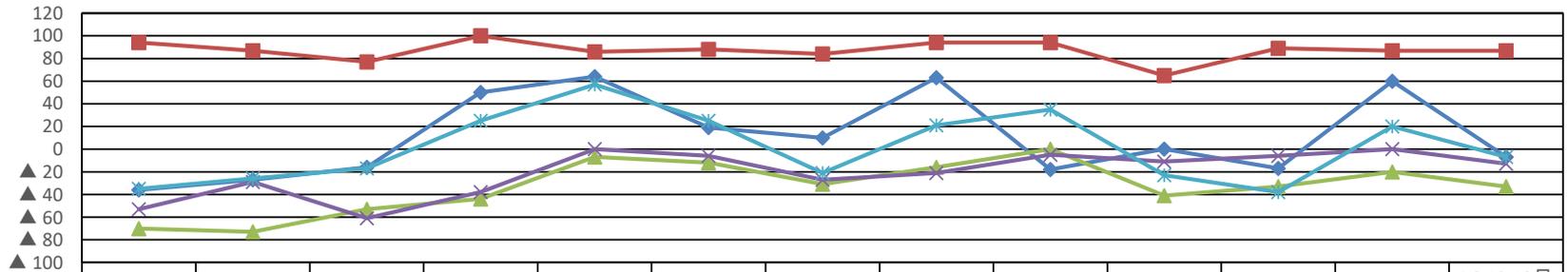
	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12見込み
● 売上高	▲ 12	▲ 59	0	7	0	9	▲ 20	▲ 16	▲ 3	▲ 19	▲ 24	▲ 14	▲ 20
■ 仕入単価	58	51	87	74	76	81	73	75	71	71	63	50	46
▲ 採算性	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 52	▲ 59	▲ 41	▲ 37	▲ 49	▲ 32	▲ 37	▲ 47	▲ 40	▲ 40
✕ 資金繰り	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 27	▲ 41	▲ 29	▲ 24	▲ 26	▲ 10	▲ 29	▲ 17	▲ 23	▲ 23
✧ 景況感	▲ 3	▲ 59	▲ 4	▲ 10	▲ 11	▲ 16	▲ 3	▲ 23	▲ 10	▲ 12	▲ 34	▲ 37	▲ 37

飲食業DI推移



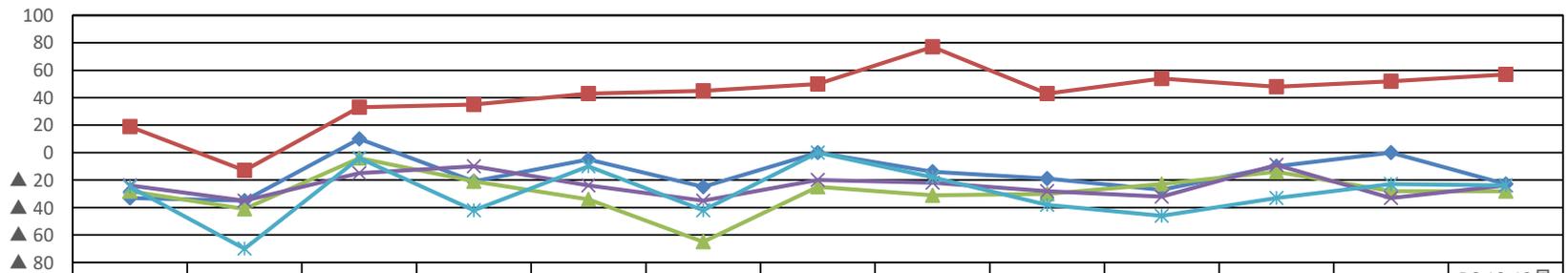
	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12見込み
● 売上高	▲ 9	▲ 72	▲ 10	14	15	33	4	9	32	▲ 5	0	14	▲ 4
■ 仕入単価	77	79	80	95	90	100	81	82	91	80	86	72	68
▲ 採算性	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 36	▲ 31	▲ 52	▲ 55	▲ 36	▲ 45	▲ 50	▲ 43	▲ 46	▲ 40
✕ 資金繰り	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40	▲ 25	▲ 9	▲ 22	▲ 31	▲ 14	▲ 20	▲ 33	▲ 18	▲ 22
✧ 景況感	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 22	▲ 10	5	▲ 4	▲ 14	22	▲ 30	▲ 19	▲ 18	▲ 18

宿泊業DI推移



	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12見込み
● 売上高	▲ 36	▲ 27	▲ 16	50	64	19	10	63	▲ 18	0	▲ 17	60	▲ 7
■ 仕入単価	94	87	77	100	86	88	84	94	94	65	89	87	87
▲ 採算性	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 44	▲ 7	▲ 12	▲ 31	▲ 16	0	▲ 41	▲ 33	▲ 20	▲ 33
× 資金繰り	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 38	0	▲ 6	▲ 27	▲ 21	▲ 5	▲ 11	▲ 6	0	▲ 13
* 景況感	▲ 35	▲ 26	▲ 17	25	57	25	▲ 21	21	35	▲ 23	▲ 38	20	▲ 7

サービス業DI推移



	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12見込み
● 売上高	▲ 33	▲ 35	10	▲ 21	▲ 5	▲ 25	0	▲ 14	▲ 19	▲ 27	▲ 10	0	▲ 23
■ 仕入単価	19	▲ 13	33	35	43	45	50	77	43	54	48	52	57
▲ 採算性	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 21	▲ 34	▲ 65	▲ 25	▲ 31	▲ 30	▲ 23	▲ 14	▲ 28	▲ 28
× 資金繰り	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 10	▲ 24	▲ 35	▲ 20	▲ 22	▲ 28	▲ 32	▲ 9	▲ 33	▲ 24
* 景況感	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 42	▲ 10	▲ 42	0	▲ 18	▲ 38	▲ 46	▲ 33	▲ 23	▲ 24